

# 令和5年度自己評価書・学校関係評価書

令和6年3月19日

真庭市立米来こども園

## 1. 米来こども園の教育保育目標

### 教育目標

- ・ 明るく元気な子ども
- ・ 友だちの仲良く遊ぶ子ども
- ・ 遊びを工夫し最後までやり遂げる子ども
- ・ 思いやりのある優しい子ども

## 2. 本年度の重点目標（課題）

「言葉で表現する力を育むための保育者の援助を探る」 ～心が動く遊びを通して～

- ・ 一人一人の思いや考えを認め、心の安定を図り、信頼関係を深める。
- ・ 子どもが話したくなる、聞きたくなる、伝えたい環境構成と保育者の援助の工夫をする。
- ・ 心と体を弾ませて生き生きと遊ぶ子どもを育てる。
- ・ いろいろな人や物、自然とのかかわりの中で自分の思いや考えを表現したり、相手に思いやりの心をもって接したりできる子どもを育てる。

## 3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価	評価委員評価 (学校評議員評価)
教育課程・指導計画	子どもの姿や興味、関心、発達をとらえて職員同士話し合いながら、保育し、成果の共有ができた。振り返りを活かしながら保育ができるようにしていく。	3	4
行事	開催方法や内容の検討を行いながら、予定通り開催、実施することができた。	4	4
組織・運営	少人数の職員で意思疎通を図り、協同して保育を行った。打ち合わせの時間がとりにくい現状はあるが工夫しながら役割、分担をさらに明確	3	3

	化していく。		
学級経営	一人一人と丁寧に関わったことで育ちにつながっていると考える。今後も個々に応じた手立てや配慮をしていく。	4	4
特別支援教育	保護者との信頼関係を密にし、保健師等関係機関と連携し共通理解をもった。引き続き切れ目のない支援をしていく。	3	4
安全管理・保健指導	毎月の安全点検を行い安全管理に努めた。体調の変化や感染症の状況に配慮し対応した。	4	4
研修（資質向上）	一人3回以上、市や県の研修会に参加し、情報収集や知識を深めた。ドキュメンテーションを作成し子どもの育ちや援助の仕方を探り、資質向上につながっている。	3	4
情報提供・保護者・地域との連携	各種便りや、ホワイトボード、写真等で園の様子をわかりやすく伝えた。地域交流では花植えや収穫体験、伝統行事等にふれることができた。	4	4
小学校との接続・連携	2学期に入り、1・5年生を中心に計画的に交流会を実施することができた。交流の在り方やねらい、内容等を検討し合い実施していく。	3	3
子育て支援	保護者が安心して話ができるように対応し、子どもの育ちを保護者と共有した。子どもの健全育成、保護者との良好な関係を継続していく。	4	4
食育の推進（給食）	細心の注意を払い配膳を行った。 小学校、共同調理場、栄養士等と連携を取り安心安全な給食を提供した。栄養士からの食育指導を行い、食に対する意識を高めた。	3	4

#### 4. 本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等（学校関係者評価委員総合所見含）

- 一人一人の発達に応じ、課題に即して自分らしさが発揮できるように援助や配慮をし、丁寧な保育を行った。子どもたちができるようになった喜びを保護者と共有し、次の意欲につながるようにした。また、保護者との信頼関係を大切に保育に取り組んだ。
- 発達状況に配慮した指導計画の作成や、子どもの思いや気持ちを汲みながら指導計画に反映できるようにした。
- 合同引き渡し訓練や不審者対応訓練等、共通理解しながら実施訓練を行った。引き続き職員の危機管理を高めていきたい。
- 担当課と連携を図り、以前からの課題であった老朽化に伴う総合遊具の撤去を行い、すべり台の設置ができた。狭い園庭ではあるが、工夫しながら活動をしていきたい。
- 個人懇談を設け、家庭での様子や子育ての相談、就学に向けて等向うことができた。今後も園の様子を丁寧にお伝えしたり、情報発信をしたり、気軽に相談しやすい雰囲気をつくったりして、保護者との信頼関係を深めていきたい。
- 園内での研修の充実にむけて、時間の確保をしていくとともに、研修等の成果をさらに日常の保育に活かし、専門性を高めて、質の向上に努め研鑽を深めていきたい。

〈学校評議員関係者評価総合所見〉

- ・ 学校と園は隣接しており、行事以外にも日々の交流ができていてよい。
- ・ 職員同士連携を取りながら丁寧に保育をされている。
- ・ 子どもたちが生き生きしている様子が伺える。
- ・ 散歩等で園児を見かける。交通安全に気を付けたり、挨拶もよくできている。
- ・ 日々子どもたちのためによくやってくださっていると思う。次年度さらなるパワーアップを期待する。園庭が狭いのが気になるが、小学校や園外活動などでしっかり活動できればと思う。

5. 評価結果・考察等（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

- ・ 今年度の経験を踏まえ、子どもたちの生活をより安心、安全でより豊かになるよう職員が力を出し合い保育を行っていききたい。
- ・ 保護者や地域の方々の温かい見守りの思いを感じている。皆様のお力を借りながら子どもたちの生活の充実に向け、交流体験等を計画していききたい。
- ・ 園庭については、今年度同様に小学校と連携しながら、運動場を使用させていただくと同時に目木地区にある公園を活用したり園外散策等で地域や自然を活かした活動ができるように計画をしたりしていく。
- ・ 園からの情報提供として、評議員の方には園のお便り等の配布も検討をしていく。